

在モンリオール総管轄地域内の概況(2025 年 9 月)

(公開情報に基づくもの)

1 政治

(1) ケベック(QC)州

・9 月 2 日、費用超過、運用・管理の失敗が問題となっている、州自動車保険公社(SAAQ)のオンラインサービス SAAQclic を含む新システムプロジェクト CASA を検証するギャラン委員会の公開調査で、ルゴー州首相が証言。コスト超過の実際の規模については一切認識していなかった、責任は運輸大臣にあると主張。

・9 月 4 日、ラフォレ州市町村大臣は、サグネ市長選出馬のため辞職。州自治体選挙は 11 月 2 日実施予定。

・9 月 5 日、与党ケベック未来連合(CAQ)元大臣のデュフル議員が除名され無所属に。同氏は、次回内閣改造でアビティビ＝テミスカマング地域選出の大臣を任命するようルゴー州首相に求め、叶わなければ辞職するとほのめかしていた。

・9 月 10 日、内閣改造実施。ルゴー州首相は優先事項として、経済、効率性(官僚主義改革)、治安(法と秩序)、アイデンティティ(伝説、文化)の 4 つを挙げる。アビティビ＝テミスカマング地域担当大臣はルゴー州首相自らが兼任。18 日、閣僚落ちしたブランシェット・ヴェズィナ前州天然資源・森林大臣は、ルゴー州首相の指導力を批判、同氏の退任を要求し離党、無所属となった。

・9 月 12 日、16 日、レジェの世論調査によると、公共の場での祈りの禁止について、完全に禁止すべきと回答した州民は 43%、特定の状況下で禁止すべきと回答した州民は 38%、禁止する法律制定に賛成の州民は 54%であった。カナダの他州では、完全に禁止すべきと回答したのはわずか 21%と対照的。

・9 月 12 日、サンピエール＝プラモンドン・ケベック党(PQ)党首がアルバータ(AB)州を訪問。管轄権をめぐり連邦政府と度々対立し独立運動の動きもある AB 州に対し、州の主権擁護のため連携して連邦政府に立ち向かおうと呼びかけた。

・9 月 17 日、18 日、連邦政府は、公務員の宗教的シンボル着用禁止等を定めた政教分離法「州法 21」をめぐるカナダ最高裁の審理に参加するため控訴理由書を提出。政教分離の憲法上の有効性についていかなる見解も示さないが、適用除外条項(特定の権利についてカナダ権利自由憲章の適用除外を可能にする)の予防的適用を批判する内容。ルゴー州政権、PQ ともに連邦政府の介入を非難。ブランシェ・ブロッケベコワ(BC、連邦政党)党首は、州の政教分離主義を表向きには攻撃しない連邦政府の姿勢を「卑怯」と発言。ロドリゲス州自由党党首は州政党の中で唯一、適用除外条項の予防的適用撤廃を約束。ただし「州法 21 号」については、社会平和が保たれているとして修正しない立場を示した。

・9 月 18 日、退任するプラント・モンリオール市長は、「国連ハビタット(国際連合人間居住計画、UN-Habitat)」新事務所が発表から 3 年を経て開所したことについて、自分が市長として 8 年間推進してきた市の環境・住宅政策を反映していると歓迎。モンリオールで 6 番目の国連機関となる同機関はケニアに本部を置き、「包括的、安全、強靱かつ持続可能な都市と人間の居住地」の促進を支援している。

・9 月 26 日、大阪・関西万博のカナダパビリオンは、同万博における最も優れた体験型デザインを表彰する「ワールド・エキスポリンピック」で、テクノロジー統合(金賞)、大規模館(銀賞)の 2 部門で受賞。モンリオールのクリエイティブスタジオ「ミラリ(Mirari)」が芸術家のロベール・ルパーージュ氏他と没入型の展示を担当した。

・9 月 30 日、州議会開会。ルゴー州首相の施政方針演説は、内閣改造で発表済み(10 日の項参照)の 4 つ

の優先事項に基づくものであった。PQ とケベック連帯(QS)の議員団は英国王室に抗議するため、ジャノット州副総督の冒頭挨拶前に一時退席。

(2) ニューファンドランド・ラブラドール(NL)州

・9 月 15 日、州総選挙戦開始。前職のフューリー州首相の辞職を受けて 5 月に党首兼首相に就任したホーガン氏率いる与党自由党は、政府が正式合意を目指すチャーチルフォールズ水力発電プロジェクトに関する QC 州との暫定合意を選挙の最大の争点とし、4 期目の政権継続を目指す。第 1 野党の州進歩保守党(PC)は、政権獲得のあかつきには同暫定合意の是非を問う州民投票を行うと約束しつつ、医療・生活費・治安問題対策を優先的に訴え、地方部での選挙活動に重点。解散時議席 1 の新民主党(NDP)は、全 40 選挙区に候補者を擁立し、数値目標のある公約をいち早く発表。第 1 野党になることを目指す。(10 月 14 日、投開票の結果、PC が過半数を獲得し 10 年ぶりの政権交代となる。)

・9 月 18 日、航空自衛隊の F-15 戦闘機が、初めてカナダ軍ゲースベイ基地(ラブラドール)に到着。180 人の自衛隊員が派遣された。航空自衛隊「北米・欧州親善訪問」の一環。

・9 月 29 日、セント・ジョンズ市は、カナダポストのストライキの影響で郵便投票が滞っていることを理由に、10 月 2 日に予定されている自治体選挙投票日を 10 月 8 日に延期すると発表。

(3) プリンスエドワードアイランド(PEI)州

・9 月 14~22 日、ランツ州首相が訪日。カナダ大西洋州経済開発庁(ACOA)の貿易ミッションで東京、大阪万博を訪問(以下経済ニュース 3(2)参照)し、シーフード等の食関連イベントや面会等を実施。その後訪問した大分県では、州と県の友好関係の発展を目指す意向表明書を締結。PEI が舞台の「赤毛のアン」の翻訳者である村岡花子氏が、大分県玖珠町(くすまち)出身の児童文学者である久留島武彦氏と交流があったとされる。

(4) ノバスコシア(NS)州

・9 月 16 日、8 月 20 日よりロックアウト・ストライキ中のダルハウジー大学と同大学教職員約 1000 人を代表する組合は、両者が暫定合意に達し 9 月 23 日より授業が再開されると発表。

(5) ニューブランズウィック(NB)州

・9 月 1 日、2 月から病氣療養中であったタウンSEND前州高等教育・訓練・労働大臣が治療を終え、改めて労働大臣として公務に復帰。

・9 月 25 日、州政府は、Wolastoqey ファーストネーションの 6 コミュニティ、ミグマ・ファーストネーションの 8 コミュニティとそれぞれ新たな税収分配協定を締結。ファーストネーションの土地で発生するタバコやガソリン等の税収額に応じて、州とファーストネーションが一定額を分け合うもので、以前の協定は 2021 年にヒッグス前政権が不公平であるとして破棄していた。ホルト現政権と締結した新たな協定について、ファーストネーション側は、州政府との関係改善を歓迎。

2 各州世論調査結果

(1) 州政党支持率

- ・QC 州(パラス(Pallas Data)調べ、9 月 6 日): ケベック党(PQ)38%、自由党(PLQ)27%、ケベック保守党(PCQ)15%、与党ケベック未来連合(CAQ)11%、ケベック連帯(QS)8%、その他 1%
- ・QC 州(レジェ(Leger Marketing)調べ、9 月 12~15 日): PQ38%、PLQ27%、CAQ16%、PCQ11%、QS7%、その他 2%
- ・NL 州(ナラティブ (Narrative Research)調べ、8 月 7~29 日): 与党自由党 59%、進歩保守党(PC) 31%、新民主党(NDP) 9%

(2) ケベックの独立

- ・パラス(Pallas Data)調べ、9 月 6 日: 賛成 35%、反対 55%、分からない 10%
- ・レジェ(Leger Marketing)調べ、9 月 12~15 日(以下同じ): 賛成 37%、反対 64%

(3) 連邦政党支持率

- ・QC 州: 与党自由党 42%、ブロック・ケベコワ 30%、保守党 21%、新民主党(NDP) 4%、緑の党 3%、その他 1%

3 経済

(1) QC 州

- ・9 月 2 日、州政府は、ネマスカ・リチウムに 1.5 億加ドルを追加投資する。同社への公的投資総額は 9.65 億加ドルに達する。州北部のワブシ鉱山からリチウム水酸化物を生産する計画で、ベカンクール加工工場は 2026 年操業開始を目指す。同社は州政府とリオティントが 50%ずつ保有。
- ・9 月 2 日、ジョリエットのブリヂストン・タイヤ工場は、サイバー攻撃のため 8 月 31 日から稼働停止。同工場は 2022 年にもサイバー攻撃で稼働停止した。9 月 4 日、段階的に稼働再開。
- ・9 月 11 日、連邦政府の推進する「国益プロジェクト」の最初の 5 つのプロジェクトとして、モンリオール近郊のコントルクール(Contrecoeur)コンテナターミナル拡張プロジェクトが選ばれる。コロナ禍以前は 10 億加ドル未満と見積もられていた同プロジェクトの費用は 23 億加ドルに達している。
- ・9 月 26 日、ルゴー州政権は、2035 年のガソリン車(新車)販売禁止計画を撤回。2035 年までに販売する新車を「ゼロエミッション車 100%」から「プラグインハイブリッド車を含む 90%」に置き換える。
- ・9 月 29 日、日立エナジーは、ヴァレンヌ(モンリオール南対岸)の変圧器製造工場拡張に 2.7 億加ドルを支出すると発表。1 年前に発表された 1.4 億加ドルに続くもので、生産能力が 3 倍に拡大する見込み。州政府は同工場に 16 メガワットの電力ブロックを提供する。1 年前に州政府と連邦政府はそれぞれ 3000 万加ドルを出資したが、さらにそれぞれ 1600 万加ドルと 1000 万加ドルを追加出資する。
- ・9 月 29 日、州政府が 5.68 億加ドル出資したヴァレンヌのバイオ燃料施設 Recyclage Carbone Varennes (RCV)が 1750 万加ドルで売却される。15 億加ドル規模とされるプロジェクトは 75%完成していた。

(2) 大西洋州

- ・9 月 8 日、カーニー連邦首相は、NL 州セント・ジョンズで、米国の関税の影響を受ける中小企業向けに連邦政府が 3 年間で 10 億加ドルを支出する米国関税対策基金のうち、大西洋州に 8000 万加ドルを割り当てると発表。企業の輸出市場多様化や技術投資によるサプライチェーン強化を支援する。

・9月14～20日、カナダ大西洋州経済開発庁(ACOA)が韓国と日本でミッション実施。大西洋州の農水産、バイオサイエンス、テクノロジー他様々な産業の28の企業や団体が参加。日本では東京と大阪万博でビジネス関連イベント等を実施。

(3) NL 州

・9月23日、エネルギー・金属鉱物資源機構(JOGMEC)は、アドボケイト地域(ニューファンドランド島北西部、Baie Verte 近郊)で、加探鉱企業 FPX 社(本社バンクーバー、住友金属鉱山が9.9%保有)とアワルワ鉱を対象とするニッケル共同探鉱を実施すると発表。権益48%を取得するオプション権を得る。ニッケルと鉄からなる合金鉱物のアワルワ鉱は、従来のニッケル開発よりもCO2排出量がより少ないとのこと。

(4) PEI 州

・9月2日、コンプトン州経済成長・イノベーション・貿易大臣は、米国との貿易戦争を受け、これまでに170社が州の市場多様化支援補助金を申請したと発言。州の企業は、9月にシンガポール、韓国、日本の貿易ミッションに参加。

(5) NS 州

・9月12日、ヒューストン州首相は、大規模洋上風力発電プロジェクト「ウィンド・ウエスト」が、連邦政府の推進する「国益プロジェクト」の候補に挙げたことを歓迎すると同時に、発電コスト軽減に向けた税額控除、低金利融資、直接投資等の支援を連邦政府に期待。プロジェクトの初期費用は600億加ドルの見込み。

・9月29日、ボーイングは、フライトシミュレータ開発企業ブルードロップ(Bluedrop Training and Simulation, 本社ハリファックス)のCV-22オスプレイ向けフライトシミュレータの生産増強のため、140万加ドルを投資すると発表。投資は連邦政府によるボーイングP-8A ポセイドン購入契約の一環。

(6) NB 州

・9月23日、ホルト首相のオタワ訪問。カーニー連邦首相が先日発表した「国益プロジェクト」の候補から州のプロジェクト(QC州とつながるパイプライン建設、シッソン鉱山、港湾拡張等)が外れたことを受け、5人の閣僚とともに連邦政府の閣僚や関係者と、電力、住宅、教育、医療、関税問題もあわせ幅広く意見交換を実施。

(了)